

2019(令和元)年6月14日

2019年度 鉄道事業設備投資計画について 運転保安度の維持・向上、お客さまサービスの向上等を目的に 約92億円の設備投資を計画

京阪電気鉄道株式会社(本社：大阪府中央区、社長：中野道夫)では、最上位価値である「安全安心」のための取り組みと、「すべてのお客さまにやさしい環境づくり」および「快適性・利便性の向上」をめざしたお客さまの満足度向上のための取り組みに加え、「京阪グループ長期経営戦略」の主軸戦略に基づく取り組みを進めています。

2019年度は、運転保安度の維持・向上やお客さまサービスの向上等を目的として、総額約92億円の鉄道事業設備投資を行います。

詳細は、下記のとおりです。

記

1. 運転保安度の維持・向上

○鋼索線のリニューアル

八幡市～男山山上駅間を結び、石清水八幡宮への参道である鋼索線(現・男山ケーブル)について、18年ぶりにリニューアル工事を実施し、安全性向上を目的に制御装置等を更新します。これに併せて、ケーブルカーを、石清水八幡宮らしさを表現する車両デザインに一新し、6月19日(水)より運行を再開します。

また、10月1日(火)より、通称を「石清水八幡宮参道ケーブル」に、駅名を「ケーブル八幡宮口」駅と「ケーブル八幡宮山上」駅へとそれぞれ変更し、併せて駅舎ファサードの美装化を行います。



ケーブルカーの新デザイン(イメージ)

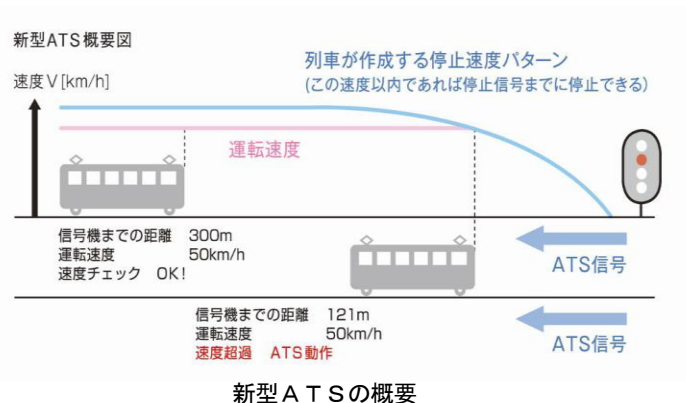


ケーブル八幡宮口駅(イメージ)

○多情報連続式自動列車停止装置(A T S)の導入

京阪線において、さらなる安全かつ安定的な輸送をめざして多情報連続式自動列車停止装置(A T S)を導入し、運転保安度の向上を図っています。

これまでに出町柳～枚方市駅間、宇治線、交野線で使用を開始していますが、2019 年中に枚方市～守口市駅間へと使用範囲を拡大し、2020 年度中には京阪線全線への導入を予定しています。



○変電所の更新

安全性の向上と地震等の災害時における機能確保を図るため、変電所の更新を実施します。守口変電所において、2018 年度から隣接地への移転更新に着手しており、2020 年度中の竣工をめざしています。

○耐震補強工事

大規模地震に備えて、駅や高架橋の耐震補強工事を実施しています。2019 年度は萱島駅構内および寝屋川市駅～萱島駅間の高架橋の耐震補強工事を行う予定です。



守口変電所更新工事



耐震補強工事(古川橋駅)

2. お客さまサービスの向上

○3000系車両用「プレミアムカー」の新造

2017年8月より、8000系車両全編成(8両×10編成)の6号車(京都側から6両目)に座席指定特別車両「プレミアムカー」を組み入れ、サービスを展開していますが、2020年度中に3000系車両全編成(8両×6編成)にも導入します。これにより、昼間時には原則として全ての特急列車に「プレミアムカー」が導入されます。

2020年度の竣工をめざして、2019年度より3000系車両用「プレミアムカー」6両の新造工事に着手いたします。



3000系車両用「プレミアムカー」(イメージ)

○6000系車両のリニューアル

導入から30年が経過した6000系車両について、2013年度よりリニューアルを進めています。車いすスペースや液晶型車内案内表示器の設置などバリアフリー化への対応のほか、内装材の取り替えや座席の更新など、車内の刷新を進めています。

これまでに14編成112両中、6編成48両のリニューアルが完了しており、2019年度はさらに2編成16両をリニューアルします。



リニューアル後の6000系車両

○駅トイレのリニューアル

駅トイレについては、清潔感の向上を基本としながら、高齢者や訪日外国人の増加など社会環境の変化にも応じられる機能を備える、お客さまにやさしい快適な空間づくりをめざしています。個室は全室洋式化して温水洗浄便座を導入しているほか、環境に配慮し、節水タイプの衛生器具やLED照明を採用しています。

2018年度にリニューアルを実施した京橋駅(中央)、北浜駅、丹波橋駅のトイレに続き、2019年度には京橋駅(片町口)・野江駅・関目駅・千林駅・滝井駅のトイレを順次リニューアルしていく予定です。



リニューアル後のトイレ(左：京橋駅(中央)、右：北浜駅)

○案内放送・ディスプレイ等の多言語化対応の充実

2018年度は、車内での最大4ヵ国語(日本語・英語・中国語・韓国語)による案内放送を京阪線全車両に導入したほか、駅においては異常時における4ヵ国語の一斉放送の対応を進めるなど、訪日外国人を含むすべてのお客さまが安心してご利用いただけるための取り組みを進めてまいりました。

2019年度は、京阪線全60駅に設置している旅客案内ディスプレイにおいて、運行状況を4言語(日本語・英語・中国語(簡体字)・韓国語)で表示する範囲を、従来から実施している京阪線に加え、大津線まで拡大します。また、災害時においてNHK緊急放送の情報提供を行うよう改修し、機能の向上を図ります。

そのほか、北浜駅において、観光案内所の設置や案内サインの改良を行います。

以 上